

事務連絡
令和7年8月8日

加盟団体 アルペン関係者 各位

公益財団法人 全日本スキー連盟

アルペン委員会委員長 押切敬司
(公印省略)

FIS 公認アルペン競技におけるエアバックプロテクター及び耐切創性アンダーウェアの着用義務について（お知らせ）

日頃よりスノースポーツの普及振興にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件について、2024/2025シーズンのアルペン競技用具におけるFISルール変更に伴い、2025/2026シーズンからはFIS公認アルペン競技のレースレベル0およびレースレベル1におけるすべてのスピード系種目では、エアバッグシステムを備えたプロテクターの着用が必須となります。ただし、レースレベル1のうちノースアメリカカップ、ファイーストカップ、ジュニア世界選手権は除きますが、これらのレースでもエアバッグの使用が強く推奨されています。

また、同じく2025/2026シーズンからはFIS公認アルペン競技のレースレベル0およびレースレベル1のすべての種目で耐切創性アンダーウェアの着用が必須となります。なお、他のレースレベルについては耐切創性アンダーウェアの着用が強く推奨されています。

これらの変更は、FIS理事会での慎重な検討を経て、選手の安全を最優先に考慮し、決定されたものです。これらのルールが遵守されない場合、選手はスタートが認められない場合があります。

貴団体関係者へご周知いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

参考： (1) FISアルペン競技用具の仕様

https://assets.fis-ski.com/f/252177/x/83fc041ff0/specifications_for_alpine_competition_equipment_21-06-2025.pdf

(2) FIS理事会議事録概要 2025年6月12日～13日

https://assets.fis-ski.com/f/252177/x/1ac1db90b1/2025_06_12-13_fiscouncilsummaryminutes.pdf

※それぞれFISホームページ掲載資料へ遷移します

●エアバックプロテクター

[FISアルペン競技用具の仕様より抜粋](#)

- 3.5.2.4 アルペン競技におけるエアバッグプロテクターの使用は、次のように決定されます。
 - 2024/25 シーズンから、レースレベル 0 のスピード種目ではエアバッグシステムが必須です。
 - 2024/25 シーズンのレースレベル 1 のスピード種目では、エアバッグシステムが強く推奨されます。
 - 2025/26 シーズンのレースレベル 0 および 1 のスピード種目で必須となります。

FIS 理事会議事録概要 2025 年 6 月 12 日～13 日より抜粋 (P14)

2025/26 シーズン (2025 年 10 月 15 日開始) から、レースレベル 0 および 1 (ノースアメリカカップ、ファーアイーストカップ、ジュニア世界選手権を除く。これらの大会では強く推奨される) において、エアバッグの使用を義務付けるという条項 3.5.2.4 を再確認しました。

●耐切創性アンダーウェアの導入

FIS アルペン競技用具の仕様より抜粋

- 3.5.3.4 あらゆるレベルのすべての競技種目で耐切創性下着の使用を強く推奨します。2025/2026 シーズン以降、カテゴリーレースレベル 0 および 1 のすべての競技種目で耐切創性アンダーウェアの使用が義務付けられます。この義務付けでは、腸骨稜からスキーブーツの始まりまでのすべての部分で、FIS-DITF テスト標準に従って最低 3 つ星の保護レベルが求められます。

※レースレベル 0 :

オリンピック (OWG)、世界選手権 (WSC)、ワールドカップ (WC)、ワールドカップスピードイベント (COM)、ワールドカップクオリフィケーション (WQUA)

※レースレベル 1 :

オーストラリアニュージーランドカップ (ANC)、ヨーロッパカップ (EC)、ヨーロッパカップスピードイベント (ECOM)、ファーアイーストカップ (FEC)、ノースアメリカカップ (NAC)、サウスアメリカカップ (SAC)、ユニバーシアード (UVS)、ジュニア世界選手権 (WJC)、ヨーロッパカップクオリフィケーション (EQUA)

【問い合わせ】

(公財) 全日本スキー連盟

アルペン委員会 ルール公認小委員会

小委員長 前原 力

E-mail : tmaehara2152@yahoo.co.jp